

職域接種ワクチンの廃棄と管理温度超過ワクチン接種のお詫びとお知らせ

平素はイオン北海道をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、弊社が実施している新型コロナウイルスワクチンの職域接種において、未使用ワクチンを廃棄する事案ならびに管理温度を超過したワクチンを使用する事案が発生いたしました。

接種したご本人をはじめご家族の皆さまに多大なご心配とご迷惑をおかけしましたことにご心からお詫び申し上げます。また、貴重なワクチンを廃棄にする事となり、併せてお詫び申し上げます。

1、事案の概要について

(1) 未使用ワクチンの廃棄について

9月9日(木)接種開始前に、弊社が職域接種を委託する事業者が、冷蔵庫の庫内温度が管理温度を超過していることに気づきました。

モデルナ社製ワクチンの冷蔵庫での管理温度2~8℃で管理すべきところ、当時の庫内温度は10℃で、管理温度の上限を2℃超過していたため、当該ワクチンの使用を中止し、当該ワクチンの廃棄を決定するに至りました。改善対策を同日午前中より、ワクチン供給元が指定する別の運用方法に変更し、解凍時の事故再発防止を実施しております。

廃棄するモデルナ社製ワクチン数 48バイアル (480回分)

(2) 管理温度超過のワクチン接種について

上記未使用ワクチンの廃棄を調査する過程において9月8日(水)の職域接種時の従業員に対して管理温度の超過したワクチンを接種していることが判明いたしました。すでに対象者の健康管理を開始しておりますが、現時点では接種した従業員から体調に関する申し出はございません。今後も引き続き経過観察してまいります。

9月8日(水)に接種した従業員数 220名

2、原因

冷蔵庫内の温度が上昇していた原因は、委託先が冷蔵庫内の温度を調整した事によるものです。調整後の温度確認を弊社が実施しておらず、結果、管理温度を超過したものです。

3、今後の対応(再発防止策等)

(1) ワクチンの解凍方法を9月9日(木)午前中に運用を変更しました。ワクチンの解凍については、前夜からの「冷蔵解凍」を中止し、ワクチン供給元が示す別のワクチンの解凍方法に基づき、「常温解凍」にて対応してまいります。

(2) 9月8日(水)に接種した従業員については、個別に事情を説明しお詫びの上、接種後2週間の毎日の体調管理を行うとともに、9月13日(月)から委託先である医療法人新産健会の健康相談室へお問合せできる体制を整えております。

弊社は当該案件について厳粛に受け止め、今後二度とこのような事態を起こさぬよう、運営・管理体制をより一層徹底し、再発防止に努めてまいります。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

イオン北海道株式会社(代表番号)

電話:011-865-4120

<報道機関からのお問い合わせ先>

イオン北海道株式会社 環境・社会貢献・広報・IR部

電話:011-865-9111